

2026年4月20日

三井ホーム株式会社

## 三井ホームが中国地方初の常設型店舗「住まいの総合サロン広島」をオープン

～お買い物や図書館の利用のついでに気軽に寄れて、住まいに関するあらゆる相談が可能～

三井ホーム株式会社（本社：東京都江東区、社長：野島 秀敏、以下「当社」）は、4月11日（土）に広島県広島市南区の「福屋広島駅前店」や「広島市立中央図書館」が入居する「エールエール HIROSHIMA」の7階に中国地方初となる商業施設への常設型店舗となる「住まいの総合サロン広島」をオープンしたことをお知らせいたします。



本施設は、当社初の「エールエール HIROSHIMA」に常設する住まいに関する相談ができる店舗です。中国地方初となる商業施設への常設型店舗の出店でもあります。地元百貨店「福屋広島駅前店」でのお買い物や図書館の利用ついでに気軽に立ち寄れる新たな相談拠点としてオープンしました。

近年、住まいに対するニーズの多様化を背景に、住宅展示場の来場者数は伸び悩んでいます。こうした中、新たな拠点となる当店舗は、お客様一人ひとりのライフスタイルに合わせた住まいの提案が可能であるとともに、住宅展示場は行ったことがなく敷居が高く感じるお客様にも、日常生活の延長線上でご利用いただけます。住宅の新築、リフォームの相談はもとより、相続税対策や資産活用の問題に対して、三井不動産グループによるワンストップでのベストな提案が可能です。また、お客様の用途やご相談内容に合わせ、オープンな「受付ブース」、幅広い商談に対応可能な「打合せ・セミナーブース」をご用意しております。

今後も、より多くのお客様に当社の住まいづくりの魅力を発信するとともに、リフォーム・住み替え・土地活用などお客様のお役に立つ様々な情報を提供してまいります。

本資料は、「国土交通記者会」「国土交通省建設専門紙記者会」「広島経済記者クラブ」にお届けしています。

**本件に関するお問い合わせ先** 三井ホーム株式会社 マーケティング・コミュニケーション部 コーポレート・コミュニケーショングループ  
津田・池本  
TEL : 03- 6370-7562 Mail : [kouhou@mitsuihome.co.jp](mailto:kouhou@mitsuihome.co.jp)

## 1. 本施設の概要

本施設は、近年の広島駅南口広場の再整備により、大きな変化の続く広島における新たな中心地「広島駅周辺地区」の活性化された人流に期待して、2026年3月の広島駅直結のペDESTリアンデッキの利用開始や福屋広島駅前店のリニューアルオープン、更には4月の広島市立中央図書館移転オープンに合わせて、オープンいたしました。「エールエール HIROSHIMA」の7階に位置しており、同エリアにある銀行やクリニックなどの日常生活に必要な外出のついでに、「すまいとくらしに関わる相談窓口」として活用できます。

**【「住まいの総合サロン広島」概要】**

 **三井ホーム**  
MITSUI HOME

- ・運営拠点：三井ホーム株式会社 関西支社
- ・オープン日：2026年4月11日
- ・開設場所：エールエール HIROSHIMA 7階
- ・営業時間：10:30～18:00
- ・H P：[https://www.mitsuihome.co.jp/modelhouse\\_search/modelhouse/17469](https://www.mitsuihome.co.jp/modelhouse_search/modelhouse/17469)

## 2. 本施設の特長

### ①多彩な用途へのご相談に対応

約11坪の広さを有する当サロンは、情報掲示スペースに加え、オープンな「受付ブース」、幅広い商談に対応可能な「打合せ・セミナーブース」をご用意しており、多彩な用途のご相談に対応が可能です。

### ②リフォーム、建替え、住み替え、土地探し、不動産活用等、様々なニーズにワンストップで対応

住宅の新築、リフォーム・建替えの比較検討の相談はもとより、住み替えや相続税対策や資産活用の問題に対して、三井不動産グループによるワンストップでの最適な提案が可能です。

### ③お買い物のついでに気軽に寄れる快適さ

駅から徒歩1分という好立地で、お客様は平日の仕事帰りや週末に気軽に立ち寄り、忙しい中でも無理なく来店が可能です。また、三井ホームをお建てになったお客様向けの「オーナーズラウンジ」としての活用、まだお建てになられていない地域の皆様にも各種お役立ちセミナーを随時開催し、交流の場となることを期待しています。

### ■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針策定」 <https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」 [https://www.mitsui-fudosan.co.jp/esg\\_csr/approach/materiality/](https://www.mitsui-fudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/)

本資料は、「国土交通記者会」「国土交通省建設専門紙記者会」「広島経済記者クラブ」にお届けしています。

本件に関するお問い合わせ先 三井ホーム株式会社 マーケティング・コミュニケーション部 コーポレート・コミュニケーショングループ 津田・池本

TEL : 03-6370-7562 Mail : [kouhou@mitsuihome.co.jp](mailto:kouhou@mitsuihome.co.jp)

**& EARTH with WOOD**